



令和4年 11月7日
海上保安庁

SAPPHIRE22 フィリピン沿岸警備隊に対する日米連携による能力向上支援 (結果概要)

～FOIPの実現に向けた「SAPPHIRE(サファイア)」の推進～

海上保安庁は、令和4年10月23日(日)から11月5日(土)までの間、外国海上保安機関に対する海上保安能力向上支援の専従部門「海上保安庁モバイルコーポレーションチーム(MCT)」5名をJICAの枠組みでフィリピンに派遣し、米国沿岸警備隊(USCG)と連携してフィリピン沿岸警備隊(PCG)職員に対する能力向上支援を実施しました。

また、11月3日(木)、森昌文総理大臣補佐官が現地を訪れて活動状況を視察されました。

- 1 今回の派遣において、海上保安庁MCTは、日本が供与した97m型の大型巡視船を用いた「えい航訓練」、「搭載艇揚降訓練」及びPCG職員に対する「制圧訓練」等を実施し、フィリピン沿岸警備隊の大型巡視船による沖合での救助能力などの業務遂行能力の向上を支援しました。
- 2 また、USCGの職員は、PCG職員に対して「立入検査」及び「ダメージコントロール(被害制御)」研修を実施しました。なお、これらの支援は、日米海上保安機関による共同取組「SAPPHIRE(サファイア)」の一環として、当庁・USCG双方が相互の研修訓練に参加し、PCGに対する能力向上支援を連携して実施しました。今回は、本年5月18日、USCGとの協力覚書付属文書署名後、二回目の日米連携による外国海上保安機関に対する能力向上支援となりました。
- 3 11月3日には、フィリピン訪問中の森総理大臣補佐官が、現地の訓練状況を視察されました。
- 4 海上保安庁では、今後とも、法の支配に基づく「自由で開かれたインド太平洋(FOIP)」の実現に向けて、各国の海上保安機関との連携・協力を強化していくとともに、インド太平洋地域の海上保安機関の能力向上支援に積極的に取り組んでまいります。

5 参考

外務省HP 森昌文内閣総理大臣補佐官のフィリピン訪問（結果）

https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea2/ph/page1_001373.html



搭載艇揚降訓練



えい航訓練



制圧訓練



訓練注意点を説明する MCT 隊員



MCT、USCG、PCG によるダメージコントロール机上訓練



森総理大臣補佐官訓練視察